

進路室だより

静岡県立富士高等学校進路課

高校78回卒業生たちの進路

この春に卒業した高校78回生が富士高校で過ごした3年間は、学習環境や入試制度が大きく変化した3年間であった。中学校時代はコロナ禍で様々な活動が制限されていたが、高校ではその規制がなくなり、部活動や学校行事を存分に楽しみ、対面でのコミュニケーションも従来の形に戻った。

学習面では、1人1台の情報端末が導入され、ロイロノートを活用した情報共有など、ICTを用いた学習が進んだ。学習内容も、知識量だけでなく、活用力・思考力・表現力を問う問題が増加した。また、入試制度においては、共通テストに教科「情報」が新設されたこと、年内入試の割合が増加したこと、大学の学部・学科改編が進んだことなど、大きな変化が見られた。

そのような環境の変化の中にあっても、78回生は高い目標を掲げ、ぶれることなく自らの進路に向けて努力を重ねてきた。今年度の進路結果を総括すると、国公立大学合格者は163名（3月24日確認）であり、その内訳は東大・京大・医学部医学科に7名、旧帝大に29名、ブロック大に50名を含む。全国的には年内入試を志向する受験生が増えているとの報道もあったが、富士高生は国公立大学を目指し、1月の共通テスト、2月の2次試験まで粘り強く取り組む生徒が多数を占めた。

今年の共通テストは、知識を覚えているだけでは解けない思考力重視の問題が昨年以上に増え、数学Ⅰ・物理・情報が難化した。特に理系を中心に、共通テスト後の志望校変更が全国的に相次ぎ、出願の判断が難しい状況であった。そのような先の見えない中でも、生徒たちはケースA～Dで想定した受験校を再検討し、担任との面接を重ね、学校全体で直前補講や小論文・面接の個別指導に取り組むことで、第一志望校合格へとつなげた。また、高校の卒業式後に実施される中期・後期試験までやり抜き、合格を勝ち取った生徒もいる。

すでに進路が決まっている生徒も含め、全員が最後まで学習に取り組み、後輩からの応援メッセージに励まされ、3年生も1・2年生に感謝を伝えるなど、学校全体が一丸となって努力する姿は、富士高校の大きな強みである。

進路実現に向けて、教科の学習以外に重要な役割を果たしたのが、総合的な探究の時間「心見考」である。

「心見考」では、各教科で学んだ知識を社会や世界の具体的な問題と関連付け、自分事として考える力を育むことができた。1人では限界があっても、他者と協働しながら課題に取り組む力が求められる。入試問題の分析でも、学部・学科や文系・理系の境界を越えた問いが増え、教科の学習で身につけた知識・技能、多くの演習、仲間との協働的な学びを通して、思考力を問う問題に対応できる力を獲得してきた。いわゆる定期テストや模試では測りきれない力を伸ばすことができたと言える。

さらに、OB・OGの大学生との交流に加え、医療分野への関心を高めるため、昨年度から「Fujiko Med」が始まった。68回生はその第1期生として参加し、医療関係者の講話や医学科の授業体験、具体的な受験対策指導などを受けた。その経験は医学科受験における小論文や志望理由書の内容を深める上で大いに役立った。このようなプログラムに積極的に参加し、社会人の意見を聞くことで、より幅広い視点を身につけることができる。

受験勉強はつらく苦しいものである。しかし、最後まで粘り強く取り組み、同じ志を持って努力し続けた富士高生は、まさに学校の宝である。互いに切磋琢磨しながら、将来リーダーとして活躍することを祈念し、まともとしたい。

2025年度 第3学年主任 佐藤 純

1. 合格者数一覧

大学種別コード	現 役		既 卒 者		現・既 計		計	
	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)
国立大学	132	(137)	13	(4)	145	(141)	177	(184)
公立大学	32	(42)	0	(1)	32	(43)		
私立大学	678	(796)	10	(10)	688	(806)	688	(806)
国公立短期大学	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(0)
私立短期大学	1	(0)	0	(0)	1	(0)		
文部省所管外大学	3	(3)	1	(0)	4	(3)	4	(3)
各種学校・専修学校	5	(2)	0	(0)	5	(2)	5	(2)
総計	851	(980)	24	(15)	875	(995)	875	(995)

2. 合格状況の分析

(1) 国公立大学

国公立大学の一般選抜の志願者数は41万9106人（前年比100%）、前期日程の志願者数は23万5165人（前年比100%）、また共通テストの志願者数は49万6237人といずれも前年比100%であった。今春の国公立大入試では、共通テスト難化の影響が各所で見られた。前期日程の志願者は前年並みであったが、中期、後期日程ではいずれも減少した。共通テストの平均点ダウンが出願見送りの大きな要因となった。また、難関大、準難関大で志願者がやや減少し、その他の大学でやや増加となっており、受験生の安全志向がみてとれる。さらに私立大専願に切り替えやすい関東、東海、近畿といった都市部で国公立大の志願者が減少したのも、共通テストの難化が影響したと考えられる。難関10大学の志願状況は、東京科学大学の志願者減が目立つ。これは理工系で第一段階選抜の予告倍率を引き下げたことの影響で、昨年の東京大学でも同様の現象が見られた。東京大、京都大の今春の志願者数は前年並み、東北大、名古屋大、九州大ではやや減少であった。

本校の国公立大学現役合格者数は164人（総合選抜・学校推薦型含む）であった。共通テストの平均点が4年ぶりにダウンした影響で、全国的に安全志向の出願となった中、本校生徒は昨年度同様、2次試験の記述力を見極め、志望大学を貫く生徒が多く見られた。また、前期日程で残念な結果となった生徒の多くが、中期・後期日程まで粘り強く受験し、東京科学大、北海道大、神戸大、国公立薬学部薬学科に延べ4人など31人が合格を勝ち取った。

難関国公立大学の結果（ ）内は昨年度人数

東京大学 1（5） 京都大学 3（4）
東京科学大 4（3） 大阪大 2（5）
東北大 3（6） 名古屋大 11（5）
北海道大 2（1） 九州大 2（1）
一橋大 0（1） 神戸大 2（2）
浜松医科大 1（4） 医学部医学科 1（10）

(2) 私立大学

2025年度の大学志願者数は前年並みの見込みだが、私立大学ののべ志願者数は大きく増加した。一般方式、共通テスト方式ともに前年から約1割増となっている。志願者増の背景には大学側が入試方式の複線化や併願割引の拡大など、複数出願を促す仕組みを整えていることがある。また、私立大学の一般選抜の志願者数は受験人口減による入試の競争緩和から2021年度以降減少傾向であったが、昨年から再び増加に転じている。

なお、本校生の受験大学延べ数トップ3は、法政大学、東洋大学、明治大学となっている。

難関私立大学結果（ ）内は昨年度人数

早稲田12名（11） 慶應義塾 5名（4）
上智 4名（6） 東京理科16名（18）
立教 5名（14） 明治25名（28）
同志社10名（15） 立命館24名（38）

3. 校内実力テスト偏差値平均による国公立大合格状況(現役)

5教科平均偏差値	令和8年度入試						令和7年度入試						合格率(%)	
	受験者(延べ)			合格者(延べ)			受験者(延べ)			合格者(延べ)			R8年度	R7年度
	文	理	計	文	理	計	文	理	計	文	理	計		
60以上	14	17	31	8	11	19	11	24	35	8	15	23	61.3	65.7
59~58	3	11	14	3	9	12	5	6	11	4	4	8	85.7	72.7
57~56	8	21	29	6	13	19	3	15	18	2	9	11	65.5	61.1
55~54	7	21	28	4	11	15	10	21	31	8	16	24	53.6	77.4
53~52	5	21	26	2	11	13	9	13	22	4	10	14	50.0	63.6
51~50	11	21	32	3	12	15	8	23	31	7	12	19	46.9	61.3
49~48	16	22	38	10	13	23	13	28	41	11	14	25	60.5	61.0
47~46	11	14	25	6	5	11	10	33	43	6	11	17	44.0	39.5
45~44	7	19	26	6	12	18	11	11	22	8	5	13	69.2	59.1
43~42	4	24	28	3	9	12	5	14	19	3	9	12	42.9	63.2
41~40	7	6	13	1	2	3	2	9	11	1	3	4	23.1	36.4
39~38	4	6	10	0	1	1	1	3	4	0	1	1	10.0	25.0
37以下	2	3	5	0	0	0	4	1	5	2	1	3	0.0	60.0
合計	99	206	305	52	109	161	92	201	293	64	110	174	52.8	59.4

※3教科型(私立文系型)の者は含まない。

最近3年間の卒業生の合格状況

1. 校種別合格者延数

校種	国立大		公立大		私立大		短大・準大・各種		合計	
	現 役	既 卒 者	現 役	既 卒 者	現 役	既 卒 者	現 役	既 卒 者	現 役	既 卒 者
令和8年度	132	13	32	0	678	10	6	1	848	24
令和7年度	137	4	42	1	796	10	5	1	980	16
令和6年度	138	8	42	1	793	36	11	0	984	45

2. 校種別・系統別による現役合格者延数

系統	人 文			法、経、商、社会			理 工			医 歯 薬 医療			教 育		
	R8	R7	R6	R8	R7	R6	R8	R7	R6	R8	R7	R6	R8	R7	R6
国 立	12	12	13	26	23	13	58	50	64	10	17	11	16	20	20
公 立	6	10	3	9	8	12	5	4	4	9	12	16	0	0	2
私 立	83	181	121	203	192	211	210	195	260	51	94	74	48	45	47
国公私立短	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
準大・各種	2	0	2	0	0	0	2	0	0	2	5	7	0	0	0
合 計	104	203	139	238	223	236	275	249	328	72	128	108	64	65	70

系統	農 水 産			家 政			そ の 他			合 計		
	R8	R7	R6	R8	R7	R6	R8	R7	R6	R8	R6	R5
国 立	10	8	11	0	1	1	3	6	5	135	137	146
公 立	2	1	1	0	3	0	1	4	4	32	42	28
私 立	21	27	26	22	27	21	43	35	33	681	796	769
国公私立短	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
準大・各種	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	5	7
合 計	33	36	39	22	31	12	47	45	42	855	980	950

3. 大学別合格者数（延べ数）

入試年度 大学	R8年度		R7年度		R6年度	
	現	既	現	既	現	既
【国立大学】						
北海道大	2		1	1	6	
北教大旭川校					1	
室蘭工大	1		1			
東北大	3		6		4	
山形大		1	1		1	
福島大	1				1	
茨城大	3		1		2	
筑波大	6	1	3	2	3	
宇都宮大			1			
群馬大			2		1	1
埼玉大	5		3		2	1
千葉大	10		7		14	
東京海洋大	3				1	
お茶の水女子大			1			
電気通信大	1				4	
東京大	1		5		4	
東京外大			2		2	
東京学芸大		1	5			
東京科学大	4		3		1	
東京農工大			1		4	
一橋大			1			1
横浜国立大	3		3		3	
新潟大	1	1	3			
富山大	1		2			
金沢大	2		6		3	
山梨大	10	1	9		6	
信州大	3	1	4		4	1
岐阜大			1		2	
静岡大	40	1	31		29	2
浜松医大	1		4		4	
愛知教育大	2				1	
名古屋大	11	1	5		6	
名古屋工大	2				2	
三重大	2			1	1	
京都大	3	1	4		3	
京都教育大			1			
京都工芸繊維大	1				1	
大阪大	2		5		8	
大阪教育大			1			
神戸大	2		2		2	
奈良女子大			1			
鳥取大			1		1	
島根大					2	
広島大		1	2		1	
山口大		1				

入試年度 大学	R8年度		R7年度		R6年度	
	現	既	現	既	現	既
徳島大	2		2		1	
鳴門教育大	1				1	
愛媛大			1			
九州大	2		1		1	1
熊本大		1				
長崎大						1
佐賀大					1	
大分大			1			
宮崎大			1		1	
鹿児島大	1	1	2		2	
琉球大					1	
<国立大学合計>	132	13	137	4	138	8
【公立大学】						
青森県立保健大			1			
宮城大	1		1			
国際教養大					1	
福島県立医大					1	
茨城県立医療大					1	
前橋工科大	1		1		1	
群馬県立女子大	1					
高崎経大	1		1		1	
千葉保健医療大			2		1	
東京都立大	4		3		2	
神奈川保福大			1			
横浜市立大	1		3		4	
新潟県立大			1		1	
富山県立大			1			
山梨県立大	1		2		1	
都留文科大	2				3	
長野県看護大					1	
静岡文化芸大	2		5		4	
静岡県立大	13		13	1	15	
愛知県立大学			1			
名古屋市立大			2			
福知山公立大			1			
京都府立大	1					
大阪公立大	1				1	1
兵庫県立大	1		1		1	
神戸市外大			1		1	
和歌山県立医大	1					
岡山県立			1			
県立広島大					1	
山口東京理科大	1					
高知工科大					1	
<公立大学合計>	32		42	1	42	1

入試年度 大学	R8年度		R7年度		R6年度	
	現	既	現	既	現	既
【私立大学】						
岩手医大	1		1			
東北医薬大		1	1			
国際医療福祉大	7		6		9	
獨協医大			1			
白鷗大	1					
東京福祉大					1	
高崎健康福祉大	1					
埼玉医大			1		1	
埼玉工大					1	
獨協大	6		2		8	
文教大	3		5		3	
十文字学園女大			1			
神田外語大	1		3			
聖徳大					2	
千葉工大	13		12		24	
千葉商大			2			
中央学院大	2					
秀明大					1	
青山学院大	12		14		11	
亜細亜大	2					
桜美林大					2	
大妻女子大	1		1		3	
学習院大	5		6		6	1
北里大	18	1	17		6	
共立女子大	2		4		3	
杏林大			2		5	
慶応大	5	1	4	1	9	2
工学院大	15		15		5	
国学院大	6		5		5	
国際基督教大	1					
国土館大			3		2	
駒澤大	18		10		16	
実践女子大			2			
芝浦工大	1		17		26	16
順天堂大	11		11		13	
上智大	4		6		8	
昭和医大	1		3		1	
昭和女子大	1		5			
昭和薬大	2		2		1	
日本栄養大	1					
成蹊大	15		12		17	
成城大	3		5		7	
聖心女子大					1	
専修大	17		17		17	
大正大	1		2			

入試年度 大学	R8年度		R7年度		R6年度	
	現	既	現	既	現	既
大東文化大	1				7	
拓殖大	2		5			2
玉川大	1		1		4	
多摩美大			2		2	
中央大	17	2	21		18	2
津田塾大			5		15	
帝京大	2		3		1	
東海大	13		7		17	
東京医大			4			
東京家政大	3		1		1	
東京経大	3		1			
東京工科大	3		1		1	2
東京女子大			2		10	
東京造形大			1			
東京電機大	6		3		4	1
東京農大	6		15		15	
東京薬大	3		2		2	
東京理大	16		18		18	
東邦大	6		2		1	
東洋大	40		39		27	
日本大	24		14		25	
日本医大					1	
日本獣医生命大					2	
日本女子大			3		5	
日本体育大					1	
法政大	32		34		30	2
星薬大	2		1			
武蔵大	1		1		15	
東京都市大	7		13		10	
武蔵野大	1	1	4		3	
武蔵野美大			1		5	
明治大	25		28	1	38	3
明治学院大	17		17		16	
明治薬大	1		1		2	
明星大	1		1			
立教大	6		14		21	1
立正大			2		2	
早稲田大	12	1	11		10	
麻布大			1		2	
神奈川大	35	1	28	1	22	
神奈川工科大	1		2		5	
鎌倉女子大	1		3		2	
関東学院大	5		2		3	
相模女子大			1			
湘南工科大	3		1			
昭和音大					1	

入試年度 大学	R8年度		R7年度		R6年度	
	現	既	現	既	現	既
マリアンナ医大			1			
東京工芸大	1					
横浜薬大			3			
湘南医療大			1			
金沢学院大			1			
北陸大					1	
山梨学院大					1	
岐阜医療科学大			2			
静岡産業大	1					
静岡理工科大			3		3	
聖隷クリスト大	2		1		2	
常葉大	87		98		107	
愛知大	3		1			
愛知医科大	1			1		
愛知学院大			3			
愛知工業大	2				1	
金城学院大	1		3			
椋山女学園大	1		3			
大同大			1			
中京大	4		8		3	
至学館大					2	
中部大			1		2	
豊田工大	2		1		1	
名古屋外大			2		1	
名古屋芸大			1			
南山大	1		5			
日本福祉大			1			
藤田医大	1	1	3			
名城大	17	1	17		8	
名古屋学芸大			2		4	
長浜バイオ大					1	
京都外大			2			
京都産業大			6		4	
京都女子大	3		1			
京都芸術大					1	
京都薬大			1			
同志社大	10		15	2	21	
同志社女子大	3		6			
佛教大			5		2	
立命館大	24		38	2	29	2
龍谷大	4		3		3	
大阪医薬大			1			
大阪経大			1			
大阪工大					1	
関西大	7		12	2	4	
関西医大	1					

入試年度 大学	R8年度		R7年度		R6年度	
	現	既	現	既	現	既
関西外大			2			
近畿大	2		11		5	2
大和大			1			
関西学院大	6		11		6	
甲南大	1				1	
甲南女子大					1	
神戸学院大			2			
兵庫医大			1			
福岡大			1			
<私立大学合計>	678	10	796	10	793	36
【短大・順大・専修】						
防衛医科大学校			3		1	
防衛大学校	2	1				
海上保安大学校	1					
静岡県大短大部					1	
共立女短	1					
名古屋医健スポー					1	
山梨県立農林大学					1	
静岡市立看護	1					
富士市立看護	1		2		1	
東京警察病院看					1	
都立広尾看護専					1	
JR東京総合病					1	
するが看護専門学					1	
富士学林	3		3		2	
<短大等合計>	9	1	8		11	0

2026年度入試を振り返って

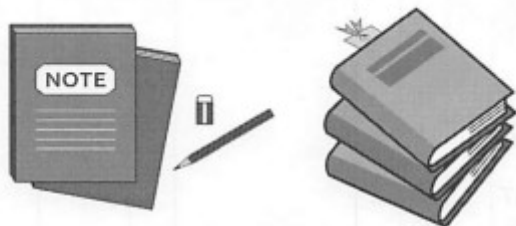
旧3年部進路課

「総合型選抜、学校推薦型選抜について」

今年度は延べ37名の生徒が総合型及び学校推薦型選抜入試に挑み、21名の生徒が合格を勝ち取った。富士高校の生徒の多くが志望するような所謂難関大の合格を勝ち取るのは容易ではない。受験者本人の志望校で学びたい意欲、学校生活の中で身に付けた基礎学力（評定）に加え、大学側には是非入学させたいと思わせる「何か」とその「何か」を伝える「表現力」が必須であった。この「何か」と「表現力」は日常の学校生活を淡々と普通に過ごしているだけでは身に付けることが難しい。これらの入試方式に関しては、受験者本人の適性と主体的な努力、先生方の適切な支援が重要であることを再認識した。

「一般選抜について」

今年度の一般入試の特徴として挙げておきたいのは、一部の中堅私大の難化の傾向がみられたことである。その影響を受けたのは本校において多数存在する国公立大学を第一志望にしつつ、中堅私大を実力相応校、滑り止め校と位置付けて共通テスト利用方式や独自入試で受験した層である。共通テストリサーチをもとにしたベネッセ駿台、河合塾等の業者判定においてA、B判定であっても不合格となる現象が見られた。特に共通テスト利用方式においてその現象が多くみられた。その要因としては私立大学が年内入試（総合型や学校推薦型など）で多くの合格者を出した結果として一般選抜の枠が小さくなると同時に、入学定員枠の超過を避けるために一般選抜の合格数を絞り、入学手続き状況を見ながら追加合格を出す際に共通テスト利用方式よりも独自入試を重視していることが考えられる。また、私大を第一志望として独自入試対策を万全にして受験している層を上回る実力を身に付けていないことも要因として考えられる。来年度入試に向けて、大学による情報公開や受験産業各社の分析を踏まえ、効果的な対策や出願方法を講じる必要性を感じた。



「今後に向けて」

今後も大学入学定員数が大学受験者数を上回る情勢に変化はなく、入学者数と受験料収入確保のために各大学があの手この手で入試方式を複雑化させる傾向は続いていくことは確かである。進路指導を行う教員が、この多種多様で複雑な入試制度を理解し、受け持つ多様な生徒の志望を叶えるためにきめ細やかな指導を行うには限界がある。これまで以上に受験生一人一人が主体的に考え、行動する力が求められている。年度末に行われた在校生向けの卒業生講話の中で難関国公立大学に合格したある卒業生がこのように語っていた。「大学受験をするのは自分です。普段から自分でできることを自分で考えて行動していないと大学受験の時だけ自分でやるっていうのは難しいことだと思います。なので、私は高校入学の手続きから自分で書類を読み、自分でできることは自分でやりました。…中略…失敗してしまったこともありましたがその経験は生きていますと思います。」是非、先輩の声を参考してみてください。

(旧3年部進路課 青木 俊太郎)



各学年主任より

「校歌と応援歌に託す『志』」

1学年主任 三澤 百合

高校に入学して約一ヶ月。新しい生活には慣れたでしょうか。皆さんが覚えたての校歌と応援歌、その歌詞に込められた思いを紐解きながら、エールを送りたいと思います。

「国家有為の材たるべし」これは本校の校歌三番の一節です。富士高に赴任した多くの教職員の心に残る言葉であるようで、卒業生への贈る言葉や離任の挨拶でも度々引用されてきました。「社会や国のために貢献できる人材になろう」という意味ですが、変化の激しい現代を生きる皆さんには、少し距離のある言葉に聞こえるかもしれません。

現代は「個」の時代であり、個性を磨き、新しい価値を創造することが求められています。新しい価値を創造することは、結果として日本や世界を豊かにする力になるからです。

その一翼を担うべく、富士高に入学した皆さんにはぜひ「青雲の志」をもってほしいと願っています。

これは応援歌『勇魂の風』に登場する言葉で、「雲を突き抜けるような高い志」を意味します。

志があるところには必ず道が開けます。まずは三年後、自分がどんな世界を学び、何を深めたいのか、周囲の目を気にすることなく、自分だけの高い目標を掲げてください。その目標に向かって一歩ずつ積み重ねていくプロセスこそが、「勉強する」ということです。

先日の校歌指導で覚えた校歌と応援歌の歌詞の意味をよく考えてみてください。そこには、皆さんが進むべき道と、地域から寄せられている期待が込められています。高校入試を突破したあの時の情熱を絶やすことなく、皆さんの志が大きな花を咲かせることを、一年部職員一同心より応援しています。

「勤勉 実力を養え」— 最高のパフォーマンスは、整った生活から —

2学年主任 市川 和久

新しい年度が始まり、一ヶ月。慌ただしい4月をいかが過ごしましたか？2年生となり、心身ともにたくましくなった皆さんが、富士高校の中心として部活動に、勉強にと、より一層エネルギーに励んでくれることを期待しています。

さて、今年度の2年生のスローガンは、昨年に引き続き校訓からとった「勤勉 実力を養え」です。これには、目先の変化に惑わされず、自分の目標に向かって淡々と努力を積み重ねてほしいという願いを込めています。

2年生はよく「中だるみの年」と言われます。学校生活に慣れたこの時期、つい自分を甘やかしたり、安きに流されたりしてはいないでしょうか。もし本来の力を出し惜しみしてしまえば、悔いの残る高校生活になってしまいます。

特に皆さんに意識してほしいのが、「自己管理(コンディショニング)」です。1年生の時、体調を崩して欠席してしまった日を思い出してみてください。「もっとやりたいのに体が追いつかない」という悔しさを感じた人もいます。どれほど優れた才能や学習計画があっても、それを実行する「心と体の資本」が整っていなければ、実力を発揮することはできません。

「継続は力なり」と言います。

- ・規則正しい生活リズムを作る。
- ・自分の弱点を把握し、早めに対策を立てる。
- ・失敗を振り返り、次に活かす。

こうした自己管理の徹底こそが、今の皆さんを「アップデート」させる鍵となります。この一年で、揺るぎない学力と、何事にも動じない強い心身を鍛え上げましょう。万全のコンディションで、最高学年である3年生へと突き進んでいく一年にしていきましょう！

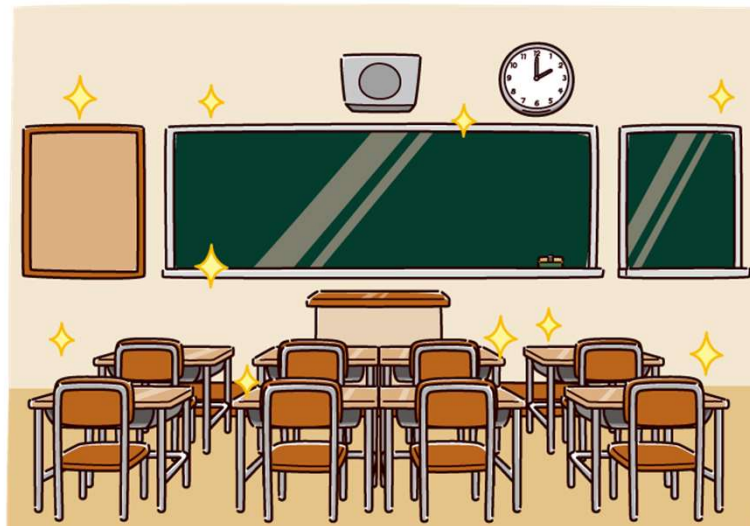
「明確な目標を掲げ、十分に準備する」

3学年主任 野村 裕子

最高学年としてスタートした学校生活から約1ヶ月が過ぎました。部活動の集大成を迎え、日々熱心に練習に励んでいる人も多いことでしょう。悔いなく最後のインターハイや高文祭を終えることができるよう、今できることに必死に取り組んでほしいと願っています。また、6月には高校生活最後の富嶽祭を迎えます。最上級生としてそれぞれの役割をきちんと果たしながら、是非同級生や後輩たちと存分に楽しんでほしいと思います。部活動・学校行事に全力で取り組める力は、この後迎える受験期の様々な場面できっと生きてくるでしょう。

部活動・富嶽祭に完全燃焼できれば、その後の受験生活への切り換えもうまくできるはずで。希望する進路を実現していくための明確な目標は掲げられていますか。第一志望の大学は、「行けそうな大学」ではなく「行きたい大学」に定められているのでしょうか。「行きたい理由」は人それぞれでよいと思います。自分にとって確固たる「行きたい理由」がきちんとあることが大切です。「この大学にどうしても入りたい」という強い思いが、時に弱気になりそうな自分を奮い立たせ、目標達成のためにやるべきことを根気強く続ける力を与えてくれるはずです。これまで希望する進路実現を果たしてきた先輩たちは、そういった明確な目標を掲げ、それを絶対に達成するという強い信念を持っていました。是非皆さんも先輩たちに続いてほしいと願っています。

希望する進路を実現していくためにもうひとつ大切なことは、十分に準備していくことです。「準備というのは、言い訳の材料となり得るものを排除していく、そのために考え得るすべてのことをこなしていく。」これは、私が「準備していく」時に自分によく言い聞かせるイチロー選手の言葉です。あれだけの偉業を成し遂げたイチロー選手だからこそのこの言葉は、とても重みがあります。志望校合格まで自分があとどれくらいの位置にいるのかを把握し、合格点に到達するために各模擬試験でどう点数を伸ばしていくかを考えたうえで、日々の学習計画を立てていく必要があります。具体的な見通しと強い信念を持って、十分に準備して行ってほしいと思います。大学受験当日を「自分はこれまでやるべきことはすべてやってきた、だから大丈夫、自分を信じよう」という心持ちで迎えることができたなら、結果も必ず伴ってくるでしょう。私たち学年部の職員も、皆さんの進路実現に向けて全力でサポートしていきます。



卒業生より

東京大学 文科三類 村上 静

"志は高く"私が入学時から自分に言い聞かせてきた、そして後輩の皆さんに一番残したい言葉です。富士高の先生方が、第一志望は高くと仰ること、不可能と思うほど大量の課題や難しい問題を出されること、今振り返ると先生方は私たちの可能性を信じて引き出そうとしてくださっていたのだと感じます。そして、多忙な富士高生活、高水準で濃密な授業と試験を乗り越えていくからこそ、実力と自信と不屈の精神が養われていきます。

第一に、困難や不可能に負けない強い心とポジティブ思考をもってください。「大丈夫、できる」と深呼吸して逆境にも立ち向かってください。受験本番も緊張と重圧の中、最後は精神力が試され、高く保ち続けた志を貫きました。

第二に、辛いときも嬉しいときもいつも家族、友人、先生、先輩後輩、地域の方々に支えられ続けていることを忘れないでください。また困ったときは積極的に周りに助けをもらうことも大切です。

第三に、受験勉強は自己との勝負です。もちろん受験生皆が全力で勉強しますが、結果は不平等で、全ての努力が報われるとは限りません。本当にシビアな壁にぶつかります。自分の弱点、苦手、できないことから逃げずに本気で向き合って自己分析をしてください。

京都大学 農学部 応用生命科学科 望月 翔平

受験期に大切なことは、適度に頑張りを続けることだと思います。自らが定めた目標といっても、努力すれば疲労は蓄積し、精気も弱まっていきます。だからこそ、自らに適合する学習環境を整え、高い集中力をもって取り組んでいくことが、結局は最も効果的なやり方であると私は考えています。そして、そのような取り組みを可能にする、受験期において大切なことは多くあります。

はじめに、受験期における快適な人間関係です。自分の生活を支え応援してくれる家族や、緊張のなかにあっても互いに思いやることのできる友人たち、勉強や生き方を教授し後押ししてくれる先生方など、受験生の周囲には大切にすべき人々が大勢います。自分の目標だけを追いがちな受験期でも、周囲への感謝を忘れず良好な関係を保つことが、最後には受験生の心の頼りになると確信しています。

次に、受験の緊張に対する対処です。受験本番は大きな緊張を伴うので、緊張の状態の最中で全力を出す力、即ち緊張に強くあることの重要性は高いと思います。私は、三年間の高校生活の中で、部活動や委員会活動における発表や生物学オリンピックへの出場など、自らの全力をぶつける場面を多く経験することによって、受験の緊張を制するための自信をつけました。また、緊張に強くなることだけでなく、受験の緊張そのものを減じさせる取り組みも重要だと思います。

自分で解決策を見つけられないとき、私はいつもライバル仲間、先生、親、様々な人からアドバイスをいただき、多様な方法を取り入れて進み続けてきました。地道な努力のときに立ち止まり、徹底的に自分と向き合うと、さらに効率よく賢く成功に近づくことができます。

最後に、最高の富士高生活への秘訣は「欲張ること」です。勉強だけでない一度きりの青春。部活動、富嶽祭、球技大会、高原教室、やりたいことは我慢せず全てやってください。何事も全力でやれば有意義で楽しいものになります。日常での当たり前のことをおろそかにせず、目の前のことに誠実に一生懸命に取り組むこと、周りへ感謝を伝えること、高い志で辛いときも笑顔でいることで、応援してもらえる存在になります。そして将来は、支えられてきた恩を還元し人を幸せにする存在になれるよう、富士高での栄光も試練も糧にして、挑戦と努力を続けていってください。後輩の皆さんをずっと応援しています。

そのためには、先に挙げた取り組みに加え、根拠のない自信を生み出すメンタルも役に立つと思います。例えば、私の友人は、受験前に志望大学の赤本を用いて神社を建立することで精神を安定させていました。傍から見ると意味不明の行為であっても、本人の役に立つのであればどのような手段でも取るべきでしょう。

最後に、勉強する環境に雑念を持ち込まないようにすることです。そのためには、適度な休憩を挟み集中力を保つことが最も重要です。私の場合は散歩をすることに不安を取り払っていました。ただ、休憩をし過ぎてしまうと意味が無いので、その対策も併せて考えるべきでしょう。参考までに、私の場合は、勉強机からあらゆる電子機器を遠ざけることで誘惑を断ち切ろうと試みました。

受験期は辛いことも多々ありますが、楽しみも多いです。自分で自分の機嫌を忘れずにとりながら努力すれば、きっと何とかかなと思います。自分の目標を実現できるように頑張ってください。

現役合格数の比較

入試年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
国立	180	163	180	152	180	164	146	139	128	161	145	153	146	138	137	132
公立	38	30	39	32	41	42	40	36	42	41	39	53	28	42	42	32
私立	472	550	599	669	753	733	701	604	763	880	951	1110	769	794	796	678
(国立)																
北海道大	6	6	8	4	5	5	6	3	5	5	3	4	3	6	1	2
東北大	12	16	13	9	6	12	9	6	8	6	7	11	7	4	6	3
東京大	5	4	4	1	4	2	5	2	1	1	3	1	1	4	5	1
名古屋大	9	8	20	13	7	13	8	6	7	11	4	8	10	6	5	11
京都大	4	2	3	4	2	0	2	0	1	4	3	4	4	3	4	3
大阪大	8	9	6	1	4	1	6	2	1	3	4	3	2	8	5	2
九州大	2	0	0	3	1	0	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2
一橋大	2	1	1	1	0	0	1	1	1	1	0	3	0	0	1	0
東京科学(工業)	2	1	0	0	0	1	0	2	1	1	2	1	1	1	3	4
医学部医学科	1	4	7	4	5	6	2	5	5	6	4	4	2	7	12	1
計	51	51	62	40	34	40	40	28	31	39	32	41	31	40	43	29
筑波大	1	1	1	0	4	1	1	7	4	4	6	2	5	3	3	6
お茶の水女子大	2	3	2	3	1	0	2	1	0	5	1	1	1	0	1	0
千葉大	8	8	6	6	10	12	7	6	9	5	10	11	7	14	7	10
横浜国立大	4	6	10	3	10	5	4	4	4	4	3	4	7	3	3	3
計	15	18	19	12	25	18	14	18	17	18	20	18	20	20	14	19
静岡大	55	31	37	32	44	35	25	41	30	37	45	35	33	28	31	40
静岡県立大	13	10	9	8	9	14	13	6	11	19	13	19	12	11	13	13
(私立)																
早稲田大	11	14	10	10	15	1	7	7	7	7	12	14	10	10	11	12
慶應義塾大	10	8	4	7	10	2	3	5	4	5	4	5	5	9	4	5
上智大	3	3	4	2	6	0	4	1	1	2	4	4	7	8	6	4
東京理大	3	30	41	29	35	27	27	20	9	15	23	21	23	18	18	16
中央	19	22	21	16	18	25	15	17	15	35	29	36	22	18	21	17
明治大	25	43	32	28	32	23	21	15	18	31	27	53	32	38	27	25
立教大	9	29	21	22	17	13	4	8	8	18	11	14	15	21	14	5
同志社大	5	14	12	5	5	5	4	8	9	5	15	18	14	21	13	10
立命館	15	25	30	27	25	25	18	17	46	28	20	47	32	29	38	24
			医は名大 1を含む			医は東北 大1を含む			医は名大 1を含む			医は東北 大1を含む	医は防医 大2を含む	医は防医 大1を含む	防衛医 科・医2	

◆進路課より◆

この「進路室だより」が配付されるころ、卒業生たちはどんな生活を送っているのだろうか。不安で不確実な日々を送っているかもしれない。すべての人が第一志望の合格を勝ち取るわけではないというのは当然のこと。しかし、だからこそ精一杯前向きに取り組むしかない。これから入試に挑む皆さんが満足のいく結果を得られることを切に願う。

ぜひ「進路室だより」に寄せられたメッセージに目を通して、進路実現の糧としてほしい。